

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成30年8月30日(2018.8.30)

【公開番号】特開2017-208718(P2017-208718A)

【公開日】平成29年11月24日(2017.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2017-045

【出願番号】特願2016-100061(P2016-100061)

【国際特許分類】

H 04 L 12/951 (2013.01)

H 04 L 12/70 (2013.01)

【F I】

H 04 L 12/951

H 04 L 12/70 D

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月17日(2018.7.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

レイヤ2ネットワークのホスト間の通信をレイヤ3ネットワークにオーバーレイする通信装置であって、

前記通信装置は、レイヤ3ネットワークにおける複数の通信経路について、前記通信経路毎の第1のMTU長を管理するとともに、前記レイヤ2ネットワークのホスト間の通信を前記複数の通信経路を介してオーバーレイする場合に付加する情報に基づき第2のMTU長を求め、

前記通信装置は、前記通信装置において、前記ホストから受信したパケットに前記付加する情報を付加後のパケット長が前記第1のMTU長を超えていた場合に、前記パケットを送信してきたホストに対し、前記パケットの宛先アドレスを送信元アドレスに、前記パケットの送信元アドレスを宛先アドレスにそれぞれ設定したメッセージによって、前記第2のMTU長を前記ホストに通知することを特徴とする通信装置。

【請求項2】

請求項1に記載の通信装置であって、

前記メッセージは、ICMP(Internet Control Message Protocol)のフォーマットに基づいて作成したメッセージであることを特徴とする通信装置。

【請求項3】

請求項1又は2に記載の通信装置であって、

前記第2のMTU長は、前記第1のMTU長から、前記付加する情報を減算した値であることを特徴とする通信装置。

【請求項4】

請求項1、2又は3に記載の通信装置であって、

前記通信装置は、前記レイヤ3ネットワークを介して前記第1のMTU長に関する情報を受信すると、前記第1のMTU長を更新することを特徴とする通信装置。

【請求項5】

請求項1、2又は3に記載の通信装置であって、

前記第1のMTU長は、予め設定された値であることを特徴とする通信装置。

【請求項6】

レイヤ2ネットワークのホスト間の通信をレイヤ3ネットワークにオーバーレイする通信方法であって、

レイヤ3ネットワークにおける複数の通信経路について、前記通信経路毎の第1のMTU長を管理するとともに、前記レイヤ2ネットワークのホスト間の通信を前記複数の通信経路を介してオーバーレイする場合に付加する情報に基づき第2のMTU長を求め、

前記ホストから受信したパケットに前記付加する情報を付加後のパケット長が前記第1のMTU長を超えていた場合に、前記パケットを送信してきたホストに対し、前記パケットの宛先アドレスを送信元アドレスに、前記パケットの送信元アドレスを宛先アドレスにそれぞれ設定したメッセージによって、前記第2のMTU長を前記ホストに通知することを特徴とする通信方法。

【請求項7】

請求項6に記載の通信方法であって、

前記メッセージは、ICMP (Internet Control Message Protocol) のフォーマットに基づいて作成したメッセージであることを特徴とする通信方法。

【請求項8】

請求項6又は7に記載の通信方法であって、

前記第2のMTU長は、前記第1のMTU長から、前記付加する情報を減算した値であることを特徴とする通信方法。

【請求項9】

請求項6、7又は8に記載の通信方法であって、

前記レイヤ3ネットワークを介して前記第1のMTU長に関する情報を受信すると、前記第1のMTU長を更新することを特徴とする通信方法。

【請求項10】

請求項6、7又は8に記載の通信方法であって、

前記第1のMTU長は、予め設定された値であることを特徴とする通信方法。